

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和4年6月6日

評価対象事業		評価者	生活福祉課長 寺山 明	
健福-15	災害救助事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	生活福祉課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	福祉総務課
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	防災・減災対策の充実

1 事業の目的

対象	被害を受けた、または、被害を受けるおそれのある市民
意図	対象者に対して、災害援護を行うため。
効果	対象者の生活が保障される。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災等により被害を受けた方に対して、見舞金を支給した。</li> <li>・異常な自然現象により被害を受けた方に対する生活の立て直しに資するための災害援護資金の貸付けは、該当がなかったため行わなかった。</li> </ul>
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度	
				指標(実績値/目標値)	指標(目標値)	指標(目標値)		
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)		
01	見舞金・弔慰金、災害援護資金等支給事務	小災害見舞金	—	- / -	-	-		
				300 / 1,052	1,052			
02	小災害緊急一時避難所等開設事務	小災害緊急一時避難所開設費用	—	- / -	-	-		
				0 / 67	67			
03				/				
04				/				
05				/				
06				/				
07				/				
08				/				
09				/				
10				/				
		財源内訳	国県支出金	/				
			地方債	/				
			その他特定財源	/				
			一般財源	300 /	1,119	1,119		
事業費の合計(千円)				300 /	1,119	1,119		
人件費(千円)					1,517	1,537		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.4	0.2	0.2			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	見舞金・弔慰金、災害 援護資金等支給事務	見舞金や弔慰金は小災害の発 生時に支給するものであり、指 標の設定にはなじまない。	小災害の被災者等に対し、 見舞金や弔慰金を支給する ことが、生活再建や精神的 な安定につながることから 「市民が安心して自分らしく 暮らすまち」に寄与した。	-
02	小災害緊急一時避難 所等開設事務	一時避難所は緊急で開設する ことから、指標の設定にはなじ まない。		開設時の運営について、関係機 関・関係課との調整が必要であ る。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

**(2) 視点別評価**

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

**(3) 総合評価** ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
災害については予測できないが、被害を受けた方や遺族の早期の生活再建のため、今後も被害が発生した場合には迅速な支援を継続していく。					

**【参考】**

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	単位						
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)	単位						
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--